

2011年(平成23年)12月9日(金)

日本経済新聞

県民百貨店(熊本市、松本蒸治社長)は高級シャツ製造のHITOYOSHI(熊本県人吉市、吉国武社長)と商品を共同開発し、9日に販売を始める。同じ熊本県に立地し、再生の道を歩む企業同士が手を組んだ。

共同開発した「HITOYOSHI」は写真は綿100%で、ボタンに「タカセ貝」を使うなど高級感を演出。人吉市の工場で生

## 熊本再生企業ペア シャツを共同開発

産する。色柄は13種類、6サイズでスタートし、順次、



独自商品をそろえて顧客の

る。

### 県民百貨店とHITOYOSHI

掘り起こしを図る。

県民百貨店は熊本岩田屋

種類を増やしていく。価格は5145円で、月300枚の販売が目標。

撤退を受けて2002年、地元企業などが設立した。HITOYOSHIは09年

HITOYOSHIは10月、東京・有楽町に開店した阪急メンズ・トーキョーでも、別に開発した商品

に会社更生法適用を申請したトミヤパレルの縫製子会社を吉国社長らがMBO(経営陣が参加する買収)で引き継いだ企業。OEM

「HITOYOSHI」ブランドで発売したばかり。

(相手先ブランドによる生地元でも独自ブランド商品)を育成する。県民百貨店は高級シャツを生産してい

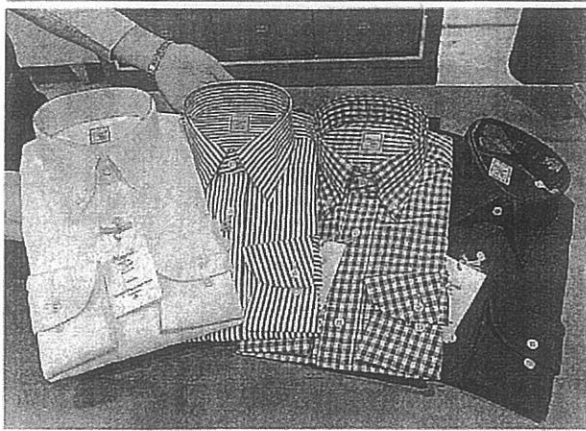
2011年(平成23年)12月9日(金)  
熊本日日新聞

県民百貨店とHITOYOSHI

# オリジナルシャツ開発

きょう発売

県民百貨店(熊本市) HITOYOSHI(人  
は、親会社の経営破綻(吉市)と共同でオリ  
を乗り越えて再出発 シナルシャツを開発、  
したシャツ縫製会社H 9日から販売する。H  
の百貨店でしか販売さ  
れておらず、県内初登場。



県民百貨店がHITOYOSHIと共同開発  
した紳士用オリジナルシャツ=熊本市

HITOYOSHI

は、親会社の経営破綻  
に伴い、高級シャツの  
生産子会社の役員らが  
事業を引き継ぐ形で、  
2009年に設立し  
た。

オリジナルシャツの  
開発は、熊本右田屋の  
撤退に伴い「再出発」  
した経験がある県民百  
貨店が、「一緒に熊本

を盛り上げよう」とH  
I TOYOSHIに提  
案。今年の夏ごろから  
準備を進めてきた。  
色柄は白無地をほじ  
め、ストライプやギン  
ガムなど計13種。縫製  
の仕様は落とさず、価  
格を国産では破格の5  
145円に抑えた。通  
常は1万円クラスのシ  
ャツに用いる「タカセ  
貝」のボタンを使うな  
ど細部にもこだわっ  
た。  
県民百貨店は「色柄  
は売り場の女性スタッ  
フが選んでおり、新鮮  
なものがそろった」と  
話し、HITOYOS  
HIは「熊本の職人た  
ちの高い技術を、熊本  
の人たちにも知っても  
らせる良い機会」と期  
待している。

(田川里美)